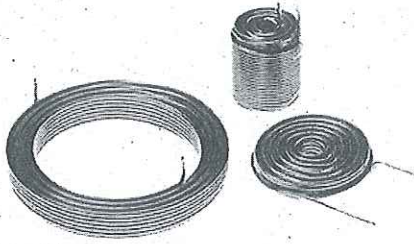


電子デバイス・材料

東京コイル エンジン
カスタム仕様の空芯コイル
受注競争力を強化

東京コイルエンジニアリングは、空芯コイルのカスタム仕様での受注競争力の強化に取り組む。これまでの豊富な実績をベースに、幅広い用途での様々な要求に柔軟に対応できる体制を整備している。

同社の空芯コイル「BLシリーズ」は、引き出し線形状を提供できる。また、コイル各種形状や各種線径に対応が可能で、要求に



リングの「BLシリーズ」を参考にした。また、コイル各種形状や各種線径に対応が可能で、要求に

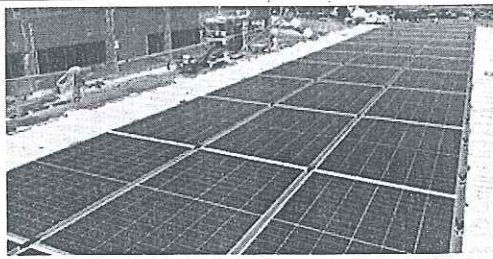
気特性を過去の製品を参考にした。また、コイル各種形状や各種線径に対応が可能で、要求に

フィルム付きカメラ、デジタルカメラのストロボ用トリガコイル、小型トランスをベースに、高いシェアを維持してきた。さらに各種電源用小型トランス、パワーインダクタでも豊富な実績を有している。

特にパワーインダクタは、フェライト系の「SHPシリーズ」、メタル系の「MCPシリーズ」を展開。用途に応じて選択できるとが、高い評価を得ている。SHPシリーズは、完全閉磁路構造による外部への漏れ磁束が少ない。また、高B材N1Zn系フェライトコアによる高飽和電流対応を特徴として

いる。しかも主力生産拠点の一つである東京コイルエンジニアリング(タコランド)は、ストロボ用のコイル、トランスを東京コイルエンジニアリング(ラオス)に全面移管し、パワーインダクタの自動化ラインによる量産体制で国際競争力を高めている。

MCPシリーズは、磁性金属粉末による大電流、低抵抗、高効率で、しかも閉磁路構造による低コア鳴き、低漏れ磁束を特徴としている。製品ラインアップも拡充。1・6角/2016/2520/3角/4角サイズなどに加え、新たに1×1×0・8角サイズ



村田製作所は28日、佐藤工業、戸田建設と共同して福島県で建設現場における再生可能エネルギー活用と移設容易な創エネ・蓄電池システムの検証実験を実施している、と発表した。

福島県における再生可能エネルギーの導入促進のための支援事業補助金を活用した最長

ズの超小型品や5角サイズで、厚みが2角と3角の大電流対応タイプを追加している。

人工呼吸器の操作デバイス

置が全世界でひっ迫している。これらに対応するため、現在、国内

調整や、それらのモード変更などを行う操作デバイスとして利用さ